

外国人労働者と日本人労働者との
共生を図るために。

日本人労働者向け

初めに

私たちは、現在課題研究の授業で、外国人労働者と日本人労働者との共生をテーマに外国人労働者の悩みについて周知を促すものを作ったら、外国人労働者は日本の企業で働きやすくなるという仮説のもと、日本の企業で働くときに生じる価値観の違いを尊重した共生を図ることを目的として、研究を行っています。

現在、日本の企業で働く外国人労働者が増え続ける一方で、価値観や言語の違いなどで、外国人労働者と日本人労働者が互いに価値観を尊重しあえる環境づくりがあまりなされていないことを知った私たちは、この問題を解決すべく、外国人雇用サービスセンターへお話を伺い、そこで学んだ現状をもとにこの本を作りました。つきましては、貴社にこの本を社内に置かせていただき、お力になることができたらと思います。

目次

| | | |
|----------------|-------|---|
| 1. 外国人労働者の悩み | ----- | 1 |
| 2. 外国人のビジネスマナー | ----- | 2 |
| 3. やさしい日本語 | ----- | 4 |
| 4. メンター制度のご紹介 | ----- | 7 |

外国人労働者の悩み

- **日本独特の暗黙のルールが分からない**

外国では仕事の際に挨拶をしない国もあります。その文化に慣れて日本企業に来た外国人は挨拶をしないので、日本人からの印象が悪くなってしまうことがあります。また、朝9時に集合と言われたら、日本人は5分前には集合する事が多いです。しかし外国では9時というと9時から9時半の間を想像したりなど、日本人と感覚のずれが生じる場合があります、悪気は無いのに遅刻扱いになってしまう事もあります。

- **知り合いが少ない**

外国から仕事のために日本に来た外国人は、日本に知り合いがいない事が多いです。そのため仕事内容についての正しく好条件な情報を得られる機会が日本人より少なく、3kのような条件の悪い仕事に就いてしまいます。

3k：きつい 汚い 危険

頼れる相談相手もいないので、不満がある際に上手く伝えられないということもあり、喧嘩になりクビになる事案も起きています。



結果

企業での外国人の評価が下がる
クビ、喧嘩の発生 など、、、

このような事案は外国人労働者と日本人労働者のどちらが悪いということではなく、**文化の違いから無意識のうちに**起きています。そのため外国人労働者は**気づかない間に孤立**し、また孤立する理由も分からないことが多いです。

外国人のビジネスマナー

外国人と日本人のビジネスマナーにはどのような違いがあるかをまとめました。

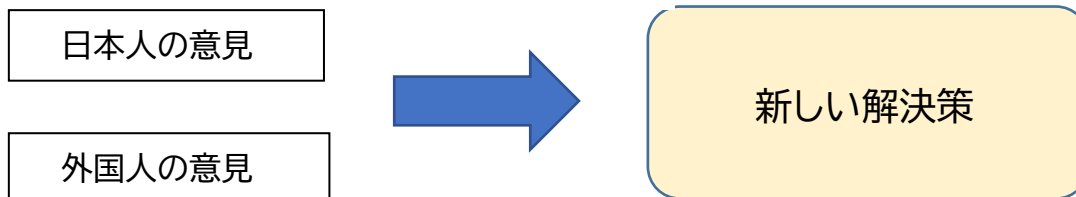
- **ライフワークバランス**
日本では仕事が生活の中心とされることが多いですが、外国ではプライベートの時間が非常に大切にされます。
- **名刺交換の方法**
日本では名刺は重要視され、挨拶の前に交換をしますが、外国ではまず握手をして敵意がないことを示し、会話をしてから交換します。
- **遅刻について**
外国人は遅刻しそうなになっても走らないことが多いです。これは外国だとひたたくり犯に間違われたり奇妙な行為に見えたりするからです。そのため日本だと時間にだらしないと思われてしまいます。
- **はっきりとものを言う**
「言わなくても通じる」ことが美德とされる日本ですが、外国人は自分の意見を発信することが重要と考えています。
- **お辞儀や礼儀**
アイコンタクトを重要視する国では、何度お辞儀をすることはあまり良い印象をあたえません。
- **敬う優先順位**
会食やタクシーなどで「上座」があり役職の順に座る位置が日本は決まっています。しかし外国ではレディーファーストが一般的です。
- **ビジネスメール**
日本のビジネスメールには定型文があります。一方外国のビジネスメールはシンプルで、伝えたい内容を簡潔にまとめることを大切にします。

～考え方の導入について～

価値観は変えるものではなく尊重すべきものです。外国人との共生を図るには日本人の視点に外国人の視点を投入する必要があります。

また、企業で問題の新しい解決策を出すときに、多数派だけが優位になるのを防ぎ、それぞれの考えや第三者の意見を聞き取り入れることが大切になります。

両視点の投入！！



やさしい日本語

外国人労働者が日本の企業で働きにくい原因の一つとして日本語が話せないことが挙げられます。日本語がわからないと、任された仕事のマニュアルなども読むことができず、仕事の進捗が遅くなってしまう傾向にあるからです。また、会社でのルールを守れないことにもつながります。これによる被害を最小限に抑えたいために私たちが推奨するのがやさしい日本語です。

やさしい日本語とは、普通の日本語よりも簡単で、外国人にもわかりやすい日本語のことです。実は、これはもともと1995年1月阪神淡路大震災で、外国人が日本語を十分に理解できず必要な情報を受け取ることができない日本にいた外国人のために災害用として作られました。

しかし、最近はこの仕事を仕事用として使う企業が多くあります。

例として以下のようなものが挙げられます。

| 変わる前 | やさしい日本語 |
|----------|------------------------------------------------------------------|
| 無料 | お金 <small>かね</small> はいらない |
| 料金前払い | 先 <small>まき</small> にお金 <small>かね</small> を払 <small>はら</small> う |
| 土足厳禁 | くつ ぬぐ |
| 少々お待ち下さい | 少し待 <small>まち</small> って下 <small>くだ</small> さい |

これを使用することによって外国人労働者とのコミュニケーションがとりやすくなります。

実例として、2017年5月の西日本新聞朝刊で、「めんべい」で有名な物産メーカー山口油屋福太郎で行われた、ベトナム人技能実習生を交えた日本人スタッフへの「やさしい日本語研修」の記事が掲載されています。

やさしい日本語 企業も

外国人労働者増え活用広がる

業務のやりとり円滑に



観光客への対応や災害時などに簡単な日本語で外国人と意思疎通を図る「やさしい日本語」を企業が活用する動きが広がっている。急増する外国人労働者に的確な指示を出したり、日常のコミュニケーションを円滑にしたりするの狙い。福岡市の食品メーカーが今春、初めて研修会を開いたほか、静岡県や愛知県でも同様の試みが続く。定住外国人との共生のツールとして「やさしい日本語」が注目を集めている。

接客や社内交流にも

容器を持参して中央公園 講師の女性が意味を聞いて掛へご参集ください。ホウ ける「容器」「持参」「参イトボードに例文を示し、集」などの熟語に、ベトナム



ベトナム人技能実習生を前に身ぶりを交えて「やさしい日本語」を練習する男性(左) =4月25日、福岡市の山口油屋福太郎本社

ム人の技能実習生たちは戸惑い、日本語の得意な一人もたどたどしく読み上げるのが精いっぱいだった。

4月下旬、福岡市南区のめんたい製造販売「山口油屋福太郎」が本社工場で開催した研修会。日本人従業員13人とベトナム人実習生

地域でも使って

「やさしい日本語」の吉開章事務局長の話。これまで日本で暮らす外国人の問題は、行政や地域の日本語教室など一部の関係者がサポートする形で対応してきた。今後、企業内でも地域社会でも、一般の人が「やさしい日本語」なら、外国人とも話ができる」と気付き、使っただけで職場や住民間の交流も深まる。

5人が一緒に「やさしい日本語」を学んだ。講師は、①難解な単語や敬語を避ける②短く区切る③はっきりと最後まで話す一などのポイントを紹介。それを踏まえ、日本人が例文をかみ砕き「入れ物を持って、中央公園に、集まってください」と言い換えた。「ゆっくり話してもらうと分かりやすいですね」。実習生のホアン・ホン・ニャンさん(27)が目細めた。

同社は4年前から実習生の受け入れを開始。業務の指示や日常会話に問題はないものの、親交を深めるきっかけにと研修会を企画した。樋口尚孝工場長は「どんな表現なら外国人に伝わりやすいのか。接客にも生かせる」と語る。

1995年の阪神大震災をきっかけに、外国人被災者への情報伝達手段として提唱された「やさしい日本語」。外国人向けの行政情報発信や観光案内に使われ

てきたが、愛知県岡崎市の岡崎商工会議所は昨年、「やさしい日本語」の企業向け研修会を開き、約20社が参加。浜松市のNPO法人「浜松日本語文化研究会」も、外国人労働者への分かりやすい指示の出し方を企業に伝えている。

研究会の加藤庸子代表は「指示がきちんと伝わらなければ、労災事故につながるおそれもある」と指摘。山口油屋福太郎の研修会に参加した福岡市中央区の日

産廃処分場で火災 嘉麻市 28日午後2時10分ごろ、福岡県嘉麻市大隈の山中にある産業廃棄物処理業「エコテック」の処分場から煙が上がっていると119番があった。写真(撮影・山本誠)。飯塚地区消防本部によると、処分場の廃プラスチックや木くずなどが燃えており、消防車18台と北九州市消防本部の消火ヘリ1台が出動した。29日午前1時現在、鎮火していない。山林への延焼はなく、けが



人はいない。同社によると、出火したのは敷地西側にある廃材置き場(約750平方メートル)。プラスチックや紙くず、木くずなどを野積みしていたという。当時、処分場は休みで従業員はいなかった。嘉麻署によると、現場は日山田市街から大隈に抜

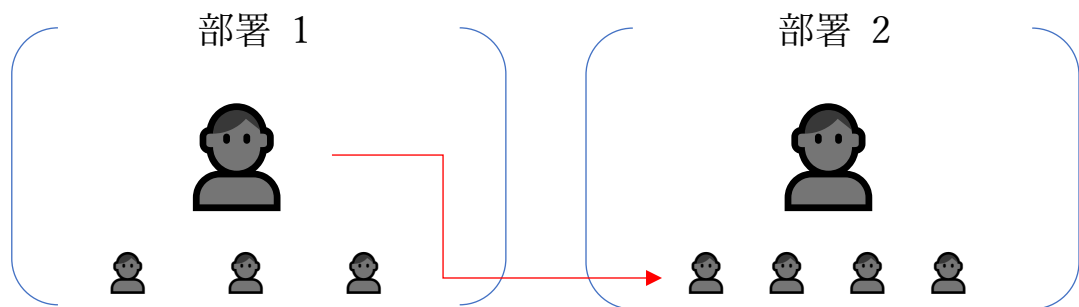
[https://yasashii-nihongotourism.jp/wpcontent/uploads/2017/05/18817354_1367491316653590_414479000_o-](https://yasashii-nihongotourism.jp/wpcontent/uploads/2017/05/18817354_1367491316653590_414479000_o-660x1024.jpg)

660x1024.jpg

メンター制度のご紹介

メンター制度とは、もともと新入社員や若手社員などの業務上や精神面での悩みに対して、上司ではなく、その人専属の年齢や社歴の近い先輩社員が、助言する制度のことです。サポートする側をメンター、サポートされる側をメンティーと呼びます。

これを外国人労働者にあてはめることによって、より外国人労働者との共生を図ることができます。



しかしこれには、メリットとデメリットが双方向に存在します。

| | メンター | メンティー |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| メリット | <ul style="list-style-type: none">✓仕事に対する責任感が強まる✓自発的に仕事に取り組むようになる | <ul style="list-style-type: none">✓悩みを一人で抱え込まないようになる✓安心感を得ることができる |
| デメリット | <ul style="list-style-type: none">✓業務的負荷が増える | <ul style="list-style-type: none">✓相性次第で信頼関係の構築に時間がかかる✓ばらつきに不公平を感じる |